



大田区立小池小学校 学校だより

明るいあいさつ
心をこめて

<http://academic3.plala.or.jp/koikes/>

運動会を終えて

校長 松橋尚子

五月十二日(土)、澄んだ青空のもと、無事に運動会を開催することができました。たくさんの方の応援を、ありがとうございました。ございました。

一年生にとっては入学後初めての全校での行事、六年生にとっては小学校最後の運動会。どの学年も、短い練習期間ではありましたが、それぞれの思いを胸に真剣に取り組み、よい運動会にできたと思います。早朝からの騒々しさや練習の音など、地域のみなさまにはご迷惑をおかけしました。ご理解いただき子供たちの成長をあたたく見守っていただけましたこと、深く感謝申し上げます。

また、日の気温差が十度近くになるという不安定な気候の中、ご家庭におきましては子供たちがベストな状態で当日を迎えられるよう、健康面やメンタル面でたくさんのご配慮いただきました。ありがとうございます。

以前勤務していた学校で、運動会の日にはNHKの取材を受けたことがあります。その番組は海外向けの英語の番組で、日本文化を紹介することを目的としています。私たちにとっては当たり前の運動会も、日本以外では珍しいイベントなのだというのをこの取材をきっかけに知りました。スポーツデイ、あるいはフィールドデイという呼び方でのスポーツイベントはあるよう

です。しかし、それは平日開催で自由参加、雨天延期になったり、家族が予定を組んで応援に来たりするものではないようです。種目も個人競技が中心で、チームでの事前の練習の積み重ねや、お互いの競技を応援することはなく、入場行進や整列しての開会式、表現種目などもないようです。

日本の運動会のはじまりは必ずしも「平和的」といえるものではなかったようです。しかし、日本独自の文化として成長する中で、平和を土台として連帯感や協調性を伸ばし、学校だけでなく家庭や地域も一体となって子供の成長を願う機会として定着してきました。本校でも、運動に親しむことはもとより、連帯感や協力、調和、団結力など集団行動の基本を学ぶ場として、また、目的をもって努力を続け、やり遂げることにやり達成感や自己肯定感を伸ばす場ととらえ、意図的、計画的に全校体制で取り組み当日に臨みました。

運動会を通して、一人ひとりの子どもが「楽しかった」だけでなくそこから何かを学びとり、自分らしく小さな一歩を踏み出す機会となったことを願っています。運動会が終われば、校外学習や移動教室が待っています。机に向かうだけではいけない様々な取組も貴重な成長の機会であることとらえ、大切に取組んでいきたいと思えます。

六月の行事予定

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	
金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
午前授業 校内研究 安全指導	個人面談 午前授業	個人面談 午前授業	音楽朝会(四年)	午前授業 (区研究会のため)	個人面談 午前授業 歯科検診(五・六年)	個人面談 午前授業 スピーチ大会(三年)	個人面談 午前授業 体力テスト週間始	社会科見学(四年)	委員会発表(エコスクール・整備)委員会活動 記念タイム 体力テスト週間終	同窓会	水泳指導開始	避難訓練 クラブ	読み聞かせ 代表委員会	学校公開(三校時まで) 土曜補習	たてわり班オリエンテーリング 遠足(六年)	音楽朝会(二年) 午前授業(区研究会のため)	午前授業(校内研究のため)												

※スクールカウンセラー相談日

◆印は、平沢 康子 (一・五・六年担当)

◇印は、山本 有見子 (二・三・四年担当)



運動会

体力向上部会 茗花 啓

五月十二日(土)、運動会が行われました。天候に恵まれ、子どもたちのキラキラした笑顔が小池小学校の校庭に広がりました。

今年度のスローガンは「赤白ともにめざせ勝利の花」です。互いに高め合い、競い合い、正々堂々と戦おう、そしてどちらが勝つてもたえ合おうという思いがこめられたスローガンです。

一年生は「ドドドド・ドキドキ大冒険」。リズムに合わせて、元気に楽しく体を動かしました。二年生は「みんなで！エン！ジョイ！フル！」。手作りのマラカスが奏でるリズムで、楽しさいっぱいに踊りました。三年生は「フラッグダンスーNA・KA・MAー」。クラスカラーのフラッグが風で美しくなびき、動きを合わせかっこよく踊りました。四年生は「エイサー〜未来の自分へ〜」。リズムに合わせた太鼓の音と、心を合わせた表現の中、これからの自分への「思い」を乗せて踊りました。五年生は「南中ソーラン〜One For All〜」。荒々しい波を乗り越えながら漁に挑む漁師さんの様子を、威勢のいい掛け声と共に力強い動きで表現しました。六年生は「History of Earth〜その先の未来へ〜」。命、自然、時間・・・過去から学んだことを明日へとつなぐ地球の歴史を見事に表現しました。

運動会を通して、相手を尊重する気持ち、また「全力を出し切った充実感」や「友達と協力して作り上げた達成感」を味わうことができたのではないかと思います。暑い中、大きなご声援をいただいた保護者の方々、地域の方々ありがとうございました。片付けのお手伝いもありがとうございました。

スピーチ大会

学力向上部会 峯 裕司

六月から、小池小学校ではスピーチ大会が始まります。話すこと・聞くことに興味をもち、主体的に話したり、聞いたりする態度を養うことがねらいです。

各学年で設定したテーマに沿って、国語科の学習を通して、児童一人一人が作文を書きます。その作文をもとに、学級ごとのスピーチ大会を行います。全ての児童がスピーチを行うことにより、話す力、聞く力が身に付いていきます。次に学級のスピーチ大会で代表児童を決め、代表児童はさらに練習を重ねて、全校児童八百十名余の前で、スピーチを行います。

全校でのスピーチ大会では、発表をする児童の真剣さはもちろんですが、そのスピーチを誰よりも真剣に聞いている児童がいます。それは感想を発表する児童です。五・六年生の代表が、スピーチ発表者への感想を伝えます。その場で感想を言うのは、とても難しいことですが、メモを活用しながら、感想や励ましの言葉を伝えていきます。

今年度は、六月(三年生)、七月(五年生)、十月(四年生)、十一月(一年生)、十二月(二年生)、一月(六年生)の六回に渡って行う予定です。

緊張しながらも、大勢の前で自らの思いを発表する経験を通して自信を付けてほしいと思います。そして、それを真剣に聞き、新しい知識や多様な考え方など多くのことを学び、成長する機会になることを期待しています。

みんなのために動くということ

六年担任 丹羽 佳奈子

六年生は五月二十七日(日)から三十日(水)まで、三泊四日の移動教室に行ってきました。天候に恵まれ、施設で行った飯盒炊さんやキャンプファイヤー、長野県上田市や松代市での歴史散策、周辺農家で農作業・収穫体験など様々な体験活動を行うことができました。

小池小学校では、移動教室を総合的な学習の時間「ふるさと自然体験隊」の学習単元に位置付けています。五月に入ってすぐ、見学先を調べたり、係ごとに準備をしたりしました。その後、長野県へ場所を移し、準備したことを基にして様々な体験活動を行ってきました。そして、体験したことから、学んだことを振り返ります。

どの体験でも、集団で活動するときには、友達と声を掛け合って協力することが必要です。例えば、飯盒炊さんでは、火をつける、お米をとぐ、野菜を切るなどの一人ひとりに役割があります。誰か一人でも手を抜いてしまうとおいしいカレーを作ることができません。子供たちは、「もう少しで材料を切り終えるよ。」「火の準備がもう少し。薪を持ってきてほしい。」「など互いに声を掛け合って、「今、自分は何をしなればならないのか。」「どんなことをすると皆のためになるのか。」を考えながら行動していました。相手のこと、班のこと、クラスのこと、学年のことを考えて動くことができた六年生。今後の生活に生かし、様々な場面で活躍する姿を楽しみにしててください。